

## 4. 鯖跳釣漁業一般漁況

(7 月 中)

本月は第三仙巖丸のみ操業、2航路で1550斤の漁獲であつた。漁場は前月同様海況に大差ないが水温が急に上昇し最高28度、前月の26.5度に比し1.5度も高い。同漁船も本月を以て切上げ日本に帰還したので本年の鯖跳釣漁業も之を以つて終結した。本年1月より本月迄の操業船数9隻、総水揚げ224,055.5斤、総航路数35航路で、一航路平均漁獲高7,262斤(宮島丸、海鷹丸を除く)で北球で始めての漁業としては良い成績である。不漁の原因は漁場がはつきり把握し得なかつた事と、電気設備不完全のため魚群を発見しながら帰港した船もあつた。尙航海技術が拙劣なりし為目的漁場を探索し得なかつた点等があつて漁業者は相当苦心をした。日本漁船は常に10隻以上久米島NW漁場に居つて相當の漁獲を揚げ得た。魚價については今後相場を一定基準に價格を維持せしめる為冷凍、塩蔵等によつて市價を維持せしめる必要がある。

海洋の概況 海はようやく夏型となり沖縄より薩南附近に至る黒潮の流域では28°~30°の間を示し平年より高目である。沿岸水温は宮古、八重山29.3°~29°、那覇では27.7°度前旬より0.6~0.3度上昇した。日本の鯖跳釣漁業は6月末から7月にかけてN28°-10°、E125°-10°で操業したが大部分は済州島近海で操業しているが、7月は時化較きのため思ふ様に操業出来なかつた様である。今後7月頃迄は済州島近海漁場に日本漁船は集中するものと思われる。琉球近海は10月下旬頃から再開されよう。

海況及漁況は次表の通り。

船名	月日	位 置	天候	風向 風力	気 圧	水 温	潮向	流速	水深	透明度	操業時間
第三仙巖丸	7.2	N 27°-45' E125°-05'	E	S 1~3	1.015	28°	ENE	2	63m	ナシ	19h-20m~ 4h-00m
"	7.3	N 27°-45' E125°-00'	B	S 3~5	"	28°	E	1	44m	20m	" "
"	7.4	N 27°-45' E124°-50'	B	S 4~6	"	28°	E	1	64m	20m	2h-4h-00
"	7.5	N 27°-55' E124°-30'	E	S 4~6	"	27.5°	E	0.5	64m	ナシ	" "
"	7.15	N 27°-50' E124°-00'	C	S 1~2	1.010	27.5°	E	1	64m	ナシ	" "
"	7.18	N 28°-00' E124°-50'	C	S 1~2	"	27.5°	E	1	64m	30m	" "
"	7.19	N 27°-50' E124°-35'	C	E 2~4	1.009	27.5°	E	1	64m	ナシ	2h-23h-

(10 月 中)

愈々秋の鯖跳釣の時期となつた。10月17日琉球水産株式会社第五硫水丸はN27°-50°、E124°-35°の位置で8時間操業、約3,500斤ゴマ鯖を漁獲した。同漁船は水温24.9°、水深53m、透明度良、気壓1017mb、餌付も良好であつた。附近漁場には鯖の小群が散遊し

—【 16 】—

つつあり、尙長崎県の情報によると、10月15日頃日本漁船はN28°—30'—N29°、E124°—30'—125°の模様との通報あり、現在10隻位操業しているようである。

愈々鯖秋漁も治気を示して来るものと期待される。

海洋の概況 五島対馬近海は水温25°前後で前旬に比して大きい変化はない。琉球薩南の黒潮海区では順調に徐々に水温が下降しつつある。

漁況、海況、漁獲高は下表のとおり。

船名	月日	位置	水深	底質	水温	潮流	風向	風力	気圧	漁獲高	備考
第三硫水丸	10-17	N 27°—57' E124°—35'	53m	砂	24.9	NE	N	5	1.017	8,800斤	餌付良好

(11 月 中)

本月は琉球水産第五硫水丸機関修理のため出漁出来なかつた。試験船宮島丸一隻のみの操業であつた。即ち11月14日N28°—7'、E124°—55'の位置にて餌の大群に出合午後6時30分より翌朝4時迄試験操業、約2,900斤の漁獲を揚げ得た。同魚群は相当濃厚で餌餌状態も至つて良好であつた。水温20.6度、気温13、気圧765.1mmを示して居た。今回の試験は電気モーター故障で予定の光力を発し得なかつた。その後天候悪化したので帰港したが同漁場附近に操業船とく今後相当漁獲あるものと推量される。

海況 本年冷水並に前日に前年同期に比し強く、南方に押流され水温も昨年同月より南下し(N28°—E125°)鯖群の分布状態も廣範囲に拡がつて居る。長崎よりの情報によると内地漁船は支那海に多数(40隻余)出漁N29°—E124°—30'を中心に一日2,000貫〜3,000貫程度を漁獲して居る。同海区附近は例年より漁がよく、且つ長続して居る様である。尙長崎海洋气象台の旬報によると支那海全域共水温の下降は急である。東海中部及び琉球から薩南に至る黒潮流域でも昨年より一度低い。海水温は引続き急速に降りつつあり特に東海北部は近年にない冷水の発達で冷え込む見込である。

海況及漁獲状況

船名	月日	位置	水深	水温	気圧	潮流	風向	風力	気圧	漁獲高
宮島丸	11-14	N 28°—07' E124°—55'	66m	21°	NE	E	5	765.0	2,500斤	

(12 月 中)

本月操業船三隻、総漁獲高24,240斤、総航海数三航海、一隻平均漁獲高8,080斤、上旬中旬出漁準備のため操業出来なかつたが、下旬に出漁、上記の漁獲を揚げ得た。漁場は第五、第三硫水丸はN27°—12'、E125°—附近、水温17.8°、彌栄丸はN23°—18'、E124°—32'で、5,000斤、N27°—41'、E124°—11'で2,000斤漁獲した。水温18.5°—19.5°を示し風浪強く操業困難のため止むなく帰港した。近海には内地漁船25隻位、2漁範囲で操業し活況を呈して居る。尙長崎よりの情報によると漁場はN28°—30'、E124°—30'附近

で中旬1月1隻2,000貫程度の漁獲で、下旬(21~25日)漁獲は稍々少なかった。本年内地船は10月以降北の海区附近で好漁が続いたので各船とも相当の成績をあげている。

海洋の概況 長崎海洋気象台の旬報によると、本月中東海全般に亘り水温の下降速度は引続きゆるやかである。黒潮流域の魚釣島及び薩南近海は22°~24°を示し昨年より稍高目となっている。従今後季節風の発達も予想せらるゝので、水温は平年並或は其れより稍低目が予想される。

海況及び漁獲高

船名	月日	位置	底質	水温	風向	風力	気圧	漁獲高
第五號水丸	12.26	N 22°-12° E123°-00'	砂	17.3				12,240斤
第三號水丸	"	"	"	"				5,000斤
錦榮丸	12.30	N 26°-18° E124°-32'	"	18.4	E/S	6	1,020	5,000斤
"	12.31	N 27°-45° E124°-11'	"	19.5	"	"	1,009	2,000斤

(56年1月中)

本月作業船四隻で、總漁獲高43,590斤、總航海数6航海、1隻平均漁獲高10,871斤、1航海平均7,265斤、上旬 第三號水丸24,000斤の大漁をなし活気を基したが、中旬より冷水の発達と季節風の影響を受け魚群東進南下し攝餌状態悪く、一時20隻余も集結して居た日本漁船も難漁し魚群探査に海中探索の状態であつたが、下旬に至り餌付も稍良好となり多少の漁獲があつた。魚群は潮目の南下と共に東進南下し、N27°-30° E125°、E124°-40°~125°が中心漁場であつた。水温19°~20°、水深51呎、水色Ⅲを示して居る。今後魚群はN27°-E125°附近に移動の模様あり(昨年三月の漁場)。

海洋の概況 東海全域共水温は緩やかに降りつつあるが、未だ昨年より高目の所が多い。又上下の混合がよく行われ水深100米~150米まで表面水温と同じである。主な潮目はN27°、E124°、N27°-30° E125°、の位置が最南端である。

海況及び漁獲高

船名	月日	位置	風向	風力	気圧	底質	水温	水深	漁獲高	備考
第三號水丸	1.14	N 27°-35° E124°-40'	-	-	-	-	-	-	24,180	初付良好
"	1.21	"	-	-	-	-	-	-	6,298	不良
第五號水丸	1.	N 26°-00° E126°-00'	-	-	-	-	19.6 21.4	-	12,113	稍良好
"	1.21	N 27°-47° E125°-13'	-	-	-	-	20.1	-	4,251	不良

船名	月日	位置	風向	風力	気圧	底質	水温	潮流	漁獲高	備考
第五丸	—	—					19		斤 1,000	不良
第三丸	—	—					19		2,000	※
漁集丸	1. 15	N 27°—51' E 124°—43'	NE	3	1,000	砂	15	NE	50尾	小魚浮上
※	※	N 27°—50' E 124°—43'	※	※	※	※	15.2	※	—	餌付不良
※	※	N 27°—49' E 124°—43'	※	5	※	※	※	※	50尾	※

(55年 二月中)

本月は荒天の爲め小型(30屯)の漁船は出漁出来ず辛じて玩水の第五、第三琉水丸のみ出漁、第五琉水丸5,610斤と試験船漁集丸1,500斤余漁獲せるのみにて其の他の漁船は漁獲皆無の状態であつた。漁場はN27°—30'、27°—45' E125°—125°—45'の範囲で上旬多少の漁獲があり稍濃厚な魚群浮上して居たが、攝餌状況概して悪く、中下旬は出漁船なく従つて各漁船は漁況の好転するのを待つて出漁すべく船の整備や修理にかゝり不振であつた。水温は18°~20°を示した。

浮洋概況 水温は同漁場附近は全旬を通じ前年より降つて冷水が大陸間いつばいに拡がる。黄海冷水は昨年より一度程低く又季節風のため冷水は南に拡がつたが、潮目の位置は中旬、下旬ともほぼ同じ位置である。

鮪釣漁業も季節風や海況の良くなるにつれて活気を呈するものと推量す。

海況及び漁獲高

船名	月日	位置	水深	底質	水温	潮流	風向 風力	気圧	漁獲高	同行状態
第五琉水丸	2. 1	N 27°—45' E 125°—17'			20.1				斤 —	
※	2. 6	N 27°—32' E 125°—36'			20.1				5,010	魚大群浮上発見餌付不良
※	2. 14	N 27°—51' E 125°—30'			20.1				—	魚群少なく餌付も不良
漁集丸		N 27°—44' E 125°—33'	106米	砂	15.6	NE	N 4	1,005	1,493	餌付補良好